

2018 年 12 月 1 日

Free Market of · by · for Wisdom

Voluntary Open Network Multiversity

知 の 市 場

—講座の概要(2018 年度版)—

人間は多様な危機に曝されつつ多様な機会に巡り合う中で技術革新、制度改革、人材改新を通して社会変革を成し遂げながら生活をしてきた。しかし日本も世界も未だ多くの課題を抱えている。こうした中において自らを活かしつつ社会と世界において活動を展開していく幅広い基盤を固めるためには、広範な教養を高めていくことが必須である。

社会の幅広い領域において諸々の機関が人々の多様な要請に応じて学習の機会を提供している。また、多彩な背景を持つ人々がそれぞれの立場で役割を担いつつ勉学に励んでいる。こうした力を糾合して新たな総合的かつ実践的な学習の機会を創成するべく「知の市場 (FMW : Free Market of · by · for Wisdom)」を開設した。

第 0 期 (黎明期 : ~2003 年度) を経て第 I 期 (形成期 : 2004~2008 年度) に「化学・生物総合管理の再教育講座」として開講して以来、第 II 期 (展開期 : 2009~2012 年度) には自立的な活動として全国に展開を拡大した。そして、自律的に発展していくための基盤を確立する第 III 期 (完成期 : 2013~2014 年度) まで実質 10 年間にわたり、総合的かつ実践的な学習の機会を提供してきた。

この成果を踏まえて、知の市場は自立的で解放的な協力関係を形成しながら人々が自己研鑽と自己実現のために立場を越えて自ら活動する場 (Voluntary Open Network Multiversity) として存在感を示している。そしてプロ人材の育成と高度な教養教育の接合及び社会人教育と学校教育の連結という二つの結合を促進するべく挑戦している。

毎年平均して第 I 期は 2 拠点で 346 名の講師の参画により 44 科目を開講し 1203 名の応募者が参加し、第 II 期は 29 拠点で 625 名の講師の参画により 68 科目を開講し 3462 名の応募者が参加し、第 III 期は 43 拠点で 706 名の講師の参画により 95 科目を開講し 2930 名の応募者が参加した。実質 10 年間で毎年平均して 19 拠点で 513 名の講師の参画により 68 科目を開講し 2573 名の応募者が参加し、合計 5643 名の講師と延べ 25725 名の応募者があった。2018 度は合計 18 拠点で 292 名の講師の参画により 45 科目を開講する。このうち、2018 年度の新規開講科目は合計 17 科目である。

そして 2018 年度の内訳は、教養編として東京知の市場が放送大学との協賛で 2 科目、名古屋市立大学大学院が 3 ユニット、国立感染症研究所が 2 科目、製品評価技術基盤機構が 4 科目、化学工学会 SCE・Net が 1 科目、サステナビリティ消費者会議が 1 科目を開講し、新規に名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班が 1 科目、日本リスクマネージャネットワークが 2 科目、関西大学が 1 科目、農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門が 1 科目、東京知の市場が放送大学との協賛で 7 科目を開講する。専門編として名古屋市立大学学びなおし支援センターが 6 科目、明治大学リバティアカデミーが 2 科目を開講する。新規に名古屋市立大学大学院医学研究科が 1 科目を開講する。加えて、研修編として動物臨床医学研究所が 2 科目、アダムジャパンが 1 科目、東洋システムが 2 科目を開講し、大学・大学院編として放送大学が新規に 4 科目を開講する。

【体系と機能】

Free Market of · by · for Wisdom

Voluntary Open Network Multiversity

知の市場

「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社会学連携」を旗印として
 実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して
 人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自律的に集う場

友の会 連携学会 協力者・協力機関 有志学生実行委員会 知の市場事務局 協議会 評価委員会

I 教養編	愛知・名古屋市立大学(1)最新医学	名古屋市立大学最新医学講座オー ブンカレッジ	名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅) 3期制、計3ユニット開講
	北アルプス・蝶ヶ岳	名古屋市立大学大学蝶ヶ岳ボラン ティア診療班	名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所 夏季、計1科目開講
	東京・戸山	国立感染症研究所	国立感染症研究所(東京メトロ早稲田駅、若松河田駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講
	東京・幡ヶ谷	製品評価技術基盤機構	製品評価技術基盤機構(京王新線幡ヶ谷駅) 前期2科目、後期1科目、計3科目開講
	大阪・住之江	製品評価技術基盤機構	製品評価技術基盤機構製品安全センター 前期1科目、計1科目開講
	大阪・〇〇〇〇(未定)	日本リスクマネージャネットワーク	未定 後期2科目、計2科目開講
	東京・茗荷谷	化学工学会SCE・Net	お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅) 前期1科目、計1科目開講
	大阪・関西大学梅田キャンパス	関西大学	関西大学梅田キャンパス(阪急梅田駅・JR大阪駅) 前期1科目、計1科目開講
	茨城・つくば	農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門	つくば市を中心に複数個所 通年1科目、計1科目開講
	東京・〇〇〇〇(未定)	サステナビリティ消費者会議	未定 後期1科目、計1科目開講
	東京・放送大学文京学習センター	東京知の市場	放送大学文京学習センター(東京メトロ茗荷谷駅) 前期6科目、後期3科目、計9科目開講
II 専門編	愛知・名古屋市立大学(2)学びなおし	名古屋市立大学大学院医学研究科	名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅) 2期制:各期3科目、通年1科目、計7科目開講
	東京・明治大学	明治大学リバティアカデミー	明治大学駿河台校舎リバティアワー(JR御茶ノ水駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講
III 研修編	鳥取・倉吉	動物臨床医学研究所	動物臨床医学研究所又は伯耆しあわせの郷(JR倉吉駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講
	埼玉・狭山元気プラザ	アダムジャパン	狭山元気プラザ、アダムジャパン(西武新宿線狭山市駅からバス) 後期1科目、計1科目開講
	福島・いわき	東洋システム	東洋システム(JR湯本駅) 通年1科目、計1科目開講
	東京・東京駅	東洋システム	アットビジネスセンター東京駅(JR東京駅八重洲口・地下鉄八丁堀駅) 前期1科目、計1科目開講
IV大学・大学院編			

I. 教養編

1. 愛知・名古屋市立大学（1）最新医学 知の市場

（1）開講機関

名古屋市立大学最新医学講座オープンカレッジ

名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジが 2014 年度から名古屋市立大学最新医学講座オープンカレッジに改称された。

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/philanthropy/opencollege.html> を参照する。

（2）開催場所

名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

（3）概要

市民の日々の生活を実りあるものにし将来の生活設計に資するために、名古屋市立大学医学部の基礎・臨床分野が蓄積している最新の研究情報を市民にわかりやすく解説し自己研鑽と再学習の場を提供することを目的とする名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジは、医療・健康に関する基礎的な科目を開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、3 期に分けて 3 ユニットを開講する。

1) 継続科目として 3 ユニット

①名古屋市立大学大学院医学研究科

最新医学に関する 3 ユニット（第 1、2、3 期講座）

講師陣は名古屋市立大学大学院医学研究科の教員を中心に、各ユニットのコーディネーターの下で学内他研究科の教員そして外部の研究者や実務家も参画している。受講者は大学生・大学院生も含めて医療・福祉関係や教育関係など幅広い社会人を応募対象とする。90 分授業 8 回からなるユニットを毎年開講する。金曜日（18 時 30 分～20 時）に開催する。

6 回以上出席者には受講修了証を発行する。受講料は 1 ユニットあたり 8,000 円である。

開催年度	ユニット数	受講者数	修了者数
2005	5	403	284
2006	6	497	390
2007	6	412	342
2008	6	371	256
2009	3	222	175
2010	3	227	173
2011	3	180	137
2012	3	218	173
2013	3	325	277
2014	3	327	289
2015	3	347	301
2016	3	359	299
2017	3		
2018	3		
合計	50	3,888	3,096

(2017 年 12 月 1 日現在)

2. 北アルプス・蝶ヶ岳 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/igakf.dir/chyogatake.htm> を参照する。

(2) 開催場所

北アルプス・蝶ヶ岳 名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療所

(3) 概要

名古屋市立大学の学生・院生と教職員の有志が、登山者の健康管理のために長年にわたり毎年夏に開設している蝶ヶ岳ボランティア診療所の活動と並行して開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、夏季に 1 科目を開講する。

1) 新規科目として 1 科目

①名古屋市立大学蝶ヶ岳ボランティア診療班

登山や健康・医学そして自然などに関する幅広い内容の科目（夏季）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2018	1		
合計	1		

3. 東京・戸山 知の市場

(1) 開講機関

国立感染症研究所

詳細は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/> を参照する。

(2) 開催場所

国立感染症研究所（東京メトロ早稲田駅、若松河田駅）

(3) 概要

我が国唯一の感染症に関する総合的な研究を行う国立感染症研究所は、感染症とその防御に関する科目を開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、前期に 1 科目、後期に 1 科目の合計 2 科目を開講する。

1) 継続科目として 2 科目

①国立感染症研究所

現在問題となっている感染症との闘いに関する科目（前期）

ワクチンを中心とした感染症対策に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	2	81	21
2013	2	70	32
2014	2	47	18
2015	2	54	28
2016	2	64	26
2017	2		
2018	2		
合計	12	316	125

(2017 年 12 月 1 日現在)

4. 東京・幡ヶ谷 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構

詳細は <http://www.nite.go.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

製品評価技術基盤機構（京王新線 幡ヶ谷駅）

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、微生物資源、バイオ安全、製品安全分野に関する科目を開講する。

2018年度は、次の連携機関と協力して、前期に2科目、後期に1科目の合計3科目を開講する。

1) 継続科目として3科目

①製品評価技術基盤機構

化学物質に関するリスク評価とリスク管理の基礎知識やリスクコミュニケーションの重要性などに関する科目（前期）

②製品評価技術基盤機構

微生物資源の活用とバイオ安全の基礎知識に関する科目（前期）

③製品評価技術基盤機構

製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目（後期）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	1	46	28
2012	1	48	26
2013	2	59	32
2014	2	62	33
2015	2	56	47
2016	3	131	131
2017	3		
2018	3		
合計	13	402	297

(2017年12月1日現在)

(注1)2011～2014年度の開講実績は、主婦連合会と共催で東京・四ツ谷の主婦会館で開講した科目を含む。

5. 大阪・住之江 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構

詳細は <http://www.nite.go.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

製品評価技術基盤機構製品安全センター

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、事故原因の究明などの製品安全分野に関する科目を開講する。

2018年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

2011年度に製品評価技術基盤機構と関西消費者連合会の共催で開講した科目を継承して、製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目（前期）

この科目は、大阪にて前期に開講するほか、後期に東京にて開講する。

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58
2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	35	28
2011	1	15	8
2012	1	50	29
2013	1	33	18
2014	1	39	20
2015	1	26	21
2016	1	35	35
2017	1		
2018	1		
合計	21	658	414

(注)2009年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2017年12月1日現在)

6. 大阪・〇〇〇〇（未定） 知の市場

(1) 開講機関

日本リスクマネージャネットワーク

詳細は <http://www.jrmn.net/> を参照する。

(2) 開催場所

未定

(3) 概要

リスクマネジメントの普及や支援に取り組むとともにリスクマネージャとしての資質を磨き、社会の安全、安心の向上に資することを目的に活動する日本リスクマネージャネットワークは身近な生活・環境害虫の防除や環境問題に関する科目を開講する。

2018年度は、次の連携機関と協力して後期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①日本環境動物昆虫学会

身近な生活・環境害虫の防除に関する科目（後期）

②日本リスクマネージャネットワーク
市民の環境問題入門に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2009	2	43	30
2010	3	39	31
2011	3	27	16
2012	2	34	10
2013	2	41	22
2014	2	33	9
2015	2	31	16
2016	2	29	15
2017	2		
2018	2		
合計	18	277	149

(2017年12月1日現在)

(注1)2009年度の開講実績は、2010年度から日本リスクマネージャネットワークが継承した科目を東京の早稲田大学規範科学総合研究所と東京工業大学社会人教育院が開講機関として開講したものである。

(注2)2010、2011年度は早稲田大学規範科学総合研究所と共催で大阪府環境農林水産総合研究所環境情報プラザ研修室にて開講した。

7. 東京・茗荷谷 知の市場

(1) 開講機関

化学工学会 SCE・Net

詳細は <http://www.sce-net.jp/shakaijinkyuiku.html> を参照する。

(2) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(3) 概要

色々な分野で活動してきた化学技術者が長年の実務経験を通じて蓄積してきた知識と技術を次代へ伝承することを目的とする化学工学会 SCE・Net は、化学技術に関わる教養講座を共催講座として開講してきたが、社会のより幅広い人々に技術や事柄についての基礎知識を提供する目的で、分割受講を可能とするなどの改革を行い、原子力と放射線に関する科目を開講する。

2018年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①化学工学会 SCE・Net

原子力と放射線の基礎から応用までを学ぶ科目（前期）

講師は当該分野で経験を積んだ現役あるいはシニアの化学技術者が当たる。

全講義の70%以上出席した受講者には、化学工学会 SCE・Net が受講修了証を発行するが、分割受講も可能である。

受講料は 1 科目あたり 5,000 円で、分割受講の場合は 3,000 円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	7	111	65
2006	7	90	51
2007	7	122	54
2008	3	106	45
2009	2	58	36
2010	2	53	24
2011	4	117	42
2012	6	152	85
2013	2	51	29
2014	4	50	50
2015	2	31	24
2016	1	23	23
2017	1		
2018	1		
合計	48	964	528

(注) 2013 年度以前は共催講座として開講してきた値も含む。

(2017 年 12 月 1 日現在)

8. 大阪・関西大学梅田キャンパス 知の市場

(1) 開講機関

関西大学

詳細は http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/ を参照する。

(2) 開催場所

関西大学梅田キャンパス (阪急梅田駅前・JR 大阪駅)

(3) 概要

安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成することを目指す関西大学は、社会安全学に関する科目を開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、前期に 1 科目を開講する。

1) 継続科目として 1 科目

① 関西大学

安全・安心社会と社会安全学に関する科目 (前期)

受講料は 1 科目あたり社会人が 10,000 円で学生院生が 3,000 円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	95	95
2015	1	92	92
2016	1	71	71
2017	1		
2018	1		
合計	4	258	258

(2017 年 12 月 1 日現在)

9. 茨城・つくば 知の市場

(1) 開講機関

農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門

詳細は <http://www.naro.affrc.go.jp/nias/gmo/opencollege/index.html>

を参照する。

(2) 開催場所

つくば市を中心に複数箇所

(3) 概要

農業・食品産業における国内最大の研究開発機関である農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門が、農業生物資源と育種や農作物の品種改良に関する科目を開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、通年で 1 科目を開講する。

1) 新規科目として 1 科目

① 農業・食品産業技術総合研究機構生物機能利用研究部門

農研機構生物機能利用研究部門で行っている研究や身近な科学の話題についてカフェスタイルで気軽に研究者と話しあうことのできる科目(通年)

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2018	1		
合計	1		

(2017 年 12 月 1 日現在)

10. 東京・〇〇〇〇 (未定) 知の市場

(1) 開講機関

サステナビリティ消費者会議

詳細は <https://ccfs2014.jimdo.com/>を参照する。

(2) 開催場所

未定

(3) 概要

持続可能な社会に向けて解決すべき消費者課題について消費者視点で調査研究し、その成果を社会に提言・解決していくための消費者組織であるサステナビリティ消費者会議は今後の持続可能な社会で消費者はどのようにあるべきかを考える科目を開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、後期に 1 科目を開講する。

1) 継続科目として 1 科目

① サステナビリティ消費者会議

今後の持続可能な社会で消費者はどのようにあるべきかを考える科目 (後期)

修了者には受講修了書を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2018	1		
合計	1		

(2017 年 12 月 1 日現在)

1 1. 東京・放送大学東京文京学習センター 知の市場

(1) 開講機関

東京知の市場

放送大学 (協賛)

詳細は <http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>
<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

放送大学東京文京学習センター (東京メトロ茗荷谷駅)

(3) 概要

学習機関として広く社会人に大学教育の機会を提供する放送大学の協賛を得て東京知の市場が、農薬や化学物質から法学まで幅広い分野の科目を開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、前期に 6 科目、後期に 3 科目の合計 9 科目を開講する。

1) 新規科目として 7 科目

①化学産業教育研究会 (細田覚)

プラスチック・ゴムを中心に、化学産業における基本技術と事業化について理解を深める科目 (前期)

②原田節雄

標準 (Open) と知財 (Closed) を巡る経営戦略を論じ、それに必要な交渉術・会議術・闘争術を解説し実演する科目 (前期)

③山口登

現地経験に基づいたサウジアラビアと日本の類似点について論じる科目 (前期)

④増田優

社会的規範と科学的方法論について事例をもって論じる科目 (前期)

⑤増田優

技術革新と社会変革の係わりについて事例をもって論じる科目 (前期)

⑥増田優

社会的規範と科学的方法論について事例をもって論じる科目 (後期)

⑦増田優

技術革新と社会変革の係わりについて事例をもって論じる (後期)

2) 継続科目として 2 科目

①放送大学 (下条佑一)

楽しく豊かな人生を創造するプロフェッショナルの心得に関する科目 (前期)

②林浩次

SDS 作成と GHS 分類の実務を学ぶ科目 (後期)

修了者には受講修了書を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2015	1	10	10
2016	4	24	23
2017	5		
2018	9		
合計	10	34	33

(2017 年 12 月 1 日現在)

II. 専門編

1 2. 愛知・名古屋市立大学（2）学びなおし 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学大学院医学研究科

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/> を参照する。

(2) 開催場所

名古屋：名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

(3) 概要

医療保健分野の人材不足を補うため、職場復帰と高度医療に対応できる能力の向上を支援することを目的とする名古屋市立大学学びなおしセンターは、専門分野に応じた柔軟な選択科目から構成する自己研鑽プログラムを開講する。

2017 年度は、次の連携機関と協力して、前期に 3 科目、後期に 3 科目の合計 6 科目を開講する。

1) 継続科目として 6 科目

①名古屋市立大学大学院医学研究科

医療保健に関する 6 科目（春期）（秋期）

2) 新規科目として 1 科目

①名古屋市立大学大学院医学研究科

医療保健に関する出張講座 1 科目（春期）（秋期）

医療と保健分野の国家資格保有者を対象としたコース制（医療専門コース、医療技能コース、健康・保健コース）での受講とスポット科目での受講があり、スポット科目での受講は一部受講制限のある実習科目を除き一般の者も受講可能である。

受講修了した国家資格保有者については、受講修了証を発行するほか、履修証明試験の成績に応じて学校教育法に基づく履修証明書を授与するとともに就職支援もおこなう。一般の受講者については受講修了証を発行する。受講料は 1 科目あたり 5,000 円である。講座受講中は学内「さくら保育所」の一時託児サービス(1 回 2,000 円)も利用できる。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2008	7(6 科目は 12 月開講)	248	194
2009	18	1,008	459
2010	10	990	399
2011	6	257	182
2012	6	272	204
2013	6	261	202
2014	6	241	191
2015	6	252	220
2016	7	258	231
2017	6		
2018	7		
合計	78	3,787	2,282

(2017 年 12 月 1 日現在)

1 3. 東京・明治大学 知の市場

(1) 開講機関

明治大学リバティアカデミー

詳細は <http://academy.meiji.jp/ccs/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

明治大学駿河台校舎リバティタワー（JR 御茶ノ水駅）

(3) 概要

明治大学の生涯教育の拠点である明治大学リバティアカデミーは安全分野に関する科目を開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、前期に 1 科目、後期に 1 科目の合計 2 科目を開講する。

1) 継続科目として 2 科目

①明治大学 リバティアカデミー

- i) 暮らしの中の安全の検証と安全を創るための方策について論じる科目（前期）
- ii) 製品と機械の安全及びリスクアセスメントに関する科目（後期）

120 分授業 16 回からなる科目を前期に 1 科目、後期に 1 科目、計 2 科目開講する。

修了者には修了証を発行する。受講料は 1 科目あたり 10,000 円である。

開催年度	科目・ユニット数	受講者数	修了者数
2005	2 ユニット	169	17*
2006	3 ユニット	308	186
2007	4 ユニット	100	84
2008	4 ユニット	119	90
2009	4 ユニット	326	199
2010	2 科目	144	144
2011	2 科目	122	90
2012	2 科目	135	112
2013	2 科目	124	80
2014	2 科目	134	90
2015	2 科目	114	78
2016	2 科目	57	51
2017	2 科目		
2018	2 科目		
合計	33	1,852	1,221

* : 1 科目は修了証発行せず

(2017 年 12 月 1 日現在)

Ⅲ. 研修編

1 4. 鳥取・倉吉 知の市場

(1) 開講機関

動物臨床医学研究所

鳥取県動物臨床医学研究所が2011年4月1日から動物臨床医学研究所に改称された。

詳細は <http://www.dourinken.com/> を参照する。

(2) 開催場所

動物臨床医学研究所 (JR 倉吉駅)

(3) 概要

獣医学に関する臨床的研究はもとより、獣医医療の従事者の教育・養成などの人材育成などに長期間にわたって取り組んできた動物臨床医学研究所は、動物医療に関する科目を開講する。

2018年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を共催講座から移行して開講する。

1) 継続科目として2科目

①動物臨床医学研究所

臨床現場に有用な症例検討のあり方に関する2科目 (前期) (後期)

動物医療の中でも伴侶動物医療の近年の発展は目を見張るものがあるが、急速な発展の中にひずみが発生しているのも事実である。医療には生き物的要素があり急速な変化に対応不能な面もあるため臨床獣医学のありようを再考しつつ、原点であるひとつひとつの症例を大事に検証して、そのありようを検討するために講義内容を毎年全面的に更新している。

受講対象者は獣医師、獣医系大学学生、動物看護師に限る。

受講料は1科目あたり1,000円、学生は500円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2010	2	146	83
2011	2	135	44
2012	2	135	37
2013	2	156	44
2014	2	142	30
2015	2	135	35
2016	2	126	19
2017	2		
2018	2		
合計	16	975	292

(2017年12月1日現在)

1 5. 埼玉・狭山元気プラザ 知の市場

(1) 開講機関

アダムジャパン

詳細は <http://adam-japan.com/> を参照する。

(2) 開催場所

狭山元気プラザ及びアダムジャパン（西武新宿線 狭山市駅からバス）

(3) 概要

ビリヤードの用具の生産において世界を先導するアダムジャパンは、全国に狭山市の特徴を発信する一環として世界において大きな存在感を有するものづくりに関する科目を開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、後期に 1 科目を開講する。

1) 継続科目として 1 科目

① アダムジャパン・狭山市

ものづくりシリーズとしてビリヤードとその道具に関する科目（後期）

受講料は 1 科目あたり 15,000 円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	10	5
2015	1	9	7
2016	1	9	8
2017	1		
2018	1		
合計	4	28	20

(2017 年 12 月 1 日現在)

1 6. 福島・いわき 知の市場

(1) 開講機関

東洋システム

詳細は、<http://www.toyo-system.co.jp/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

東洋システム研修室（JR 常磐線 湯本駅）

(3) 概要

二次電池の試験装置を提供するとともに試験評価を広く実施することにより高性能二次電池の開発や日本の国際競争力の維持向上に資する東洋システムは、リチウムイオン二次電池をはじめとする二次電池が多くの化学物質の集積によって成り立っていることを踏まえた科目を開講する。

2018 年度は、次の連携機関と協力して、通年で 1 科目を開講する。

1) 継続科目として 1 科目

① 増田優

イノベーションに関する科目（通年）

受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	1	22	22
2014	1	20	20
2015	1	53	53
2016	2	32	32
2017	1		
2018	1		
合計	6	127	127

(2017年12月1日現在)

17. 東京・東京駅 知の市場

(1) 開講機関

東洋システム

詳細は、<http://www.toyo-system.co.jp/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

アットビジネスセンター東京駅(JR 東京駅八重洲口・地下鉄八丁堀駅)

(3) 概要

二次電池の試験装置を提供するとともに試験評価を広く実施することにより高性能二次電池の開発や日本の国際競争力の維持向上に資する東洋システムは、リチウムイオン二次電池に関する科目を開講する。

2018年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

①東洋システム

リチウムイオン二次電池開発の歴史に見る技術革新の成否の要因に関する科目(前期)

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1	107	23
2015	1	80	17
2016	1	119	23
2017	1		
2018	1		
合計	4	306	63

(2017年12月1日現在)

(注1)2014年度の開講実績は東洋システムが東京・八重洲にて、2015年度の開講実績は東洋システムが愛知・名古屋にて、2016年度の開講実績は東洋システムが同志社大学東京オフィスにて、2017年度開講実績は京都テルサ、TKP 京都四条烏丸カンファレンスセンターにて開講したものである。

IV. 大学・大学院編

大学や大学院での正規の単位取得対象科目として開講される科目やユニットを知の市場の関連講座として位置づける。この展開を新たに始めた第Ⅱ期（展開期：2009～2012年度）は毎年平均して9拠点で27科目を開講した。第Ⅲ期（完成期：2013～2014年度）は平均して7拠点で15科目を開講した。

2018年度は、1拠点で4科目を開講する。

拠点名	科目名	種別	学科・連携機関
東京・放送大学 文京学習センター 知の市場	規範科学事例研究1	科目	放送大学
	社会技術革新学事例研究1	科目	
	規範科学事例研究2	科目	
	社会技術革新学事例研究2	科目	

第18回協議会
資料 1-5

第Ⅱ期			第Ⅲ期			2016			2017			2018		
開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数
—	—	—	—	—	—	4科目	58	54	4科目	—	—	4科目	—	—
—	—	—	—	—	—	1科目	148	124	1科目	—	—	—	—	—
5ユニット	669	563	4ユニット	350	325	3ユニット	279	254	—	—	—	—	—	—
4科目	63	46	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	1科目	50	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	2科目	42	27	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3科目	15	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3科目	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3科目	35	31	2科目	15 (1科目)	14 (1科目)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3科目	140	117	3科目	32	23	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1科目	5	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	3科目	0	0	4科目	—	—	—	—	—
1科目	32	30	1科目	36	36	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1科目	22	20	1科目	25	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	2科目	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	2科目	14	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2科目	34	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1科目	5	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	1科目	75	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30科目	1268	1068	22科目	686	536	11科目	485	432	9科目	—	—	4科目	—	—

注：第Ⅱ期の値は2009～2012年度、第Ⅲ期の値は2013～2014年度のうち開講された年数を基に算出した平均値を示す。

(2017年12月1日現在)